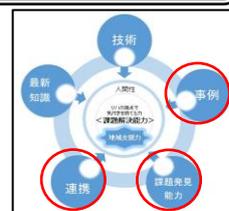


## 高次脳機能障害コース医師・セラピスト研修（定員：20名）

脳損傷・脳疾患に対してのリハビリテーションプログラムを多職種ですすめるためには、障害像などを共通の理解のもとに進める必要があります。そのためには用語や定義などを明確にしておく必要があります。また、プログラムは脳画像の判読を症状とあわせて評価することで効果が上がります。この研修では、診断にかかる定義や脳画像を判読し考えられる症状の推論と高次脳機能障害の方を支援する効果的な思考プロセスなどレベルの高い内容となっています。事例を通じたワークショップで講義の学びをアウトプットし、明日から臨床に活かせることを目的とします。



【会場】 県立総合病院 新館4階 講堂

日 時	内 容	講 師
令和7年 2月2日（日） 13:00～17:00 （受付 12:30～）	「高次脳機能障害の診断と用語の整理」	京都大学大学院医学研究科 精神医学教室 教授 村井 俊哉 氏
	「注意障害・記憶障害におけるリハビリテーションプログラムの立案・実施について」	藍野大学医療保健学部 作業療法学科 学科長 教授 酒井 浩 氏
	ワークショップ 「事例から脳画像の判読、診断、評価、リハビリテーションプログラムの立案と高次脳機能障害の現象について」	

●対象者：医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、心理士、介護福祉士、介護士、ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、相談支援事業所職員、就労支援機関職員 等

●申込締切り：令和7年1月24日（金）まで 【先着順】

★申込方法：下記 URL または二次元コードから受付フォームにアクセスし、お申し込みください。

URL：<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/r6nenndokouzinouisiserapisuto>

【二次元コード】



- ※ 日本医師会生涯教育制度単位申請予定
- ※ 日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定
- ※ 日本理学療法士協会登録理学療法士更新ポイント申請予定

担当：山原